

ふくおかし しょう ふくし かん ちょうさ  
福岡市 障がい福祉に関するアンケート調査  
はったつしょう じ しゃよう  
【発達障がい児・者用】

【ご協力<sup>きょうりよく</sup>のお願い<sup>ねが</sup>】

ひごろからふくおかし ふくしこうじょう ぎょうりよく  
日頃から福岡市の福祉向上にご協力<sup>きょうりよく</sup>をいただきまして、ありがとうございます。

ふくおかし しょう ひと ひつよう しえん う みづか のうりよく さいだいげんはつき  
福岡市では、障がいのある人が必要な支援を受けながら、自らの能力を最大限発揮  
し、地域<sup>ちいき</sup>や家庭<sup>かてい</sup>でいきいきと生活<sup>せいかつ</sup>することのできるまちづくりをめざし、「福岡市保健  
福祉総合計画<sup>ふくしそうごうけいかく</sup>」（令和3年度～令和8年度）および「第7期福岡市障がい福祉計画及び  
第3期福岡市障がい児福祉計画<sup>だい きふくおかししょう ふくしけいかくおよ だいいきふくおかししょう</sup>」（令和6年度～令和8年度）に基づき、障がい福祉施策<sup>ふくししきさく</sup>  
を進めております。

こんかい れいわ ねんどいこう ふくおかしほけん ふくしそうごうけいかくなど つく きそしりょう  
今回、令和9年度以降の福岡市保健福祉総合計画等を作る基礎資料<sup>きそしりょう</sup>とするため、福岡市  
の発達障がいのある方<sup>はったつしょう</sup>に、生活の様子<sup>かた</sup>や福祉サービス<sup>せいかつ</sup>に対するご意見<sup>ようい</sup>やご要望<sup>ようぼう</sup>などにつ  
いて、アンケート調査<sup>ちようさ</sup>を行うことといたしました。（900部配布<sup>ふはいふ</sup>）

この調査は、これからの福岡市の障がい福祉施策の充実のために実施するものです。  
あなたのお名前<sup>なまえ</sup>や回答<sup>かいとう</sup>の内容<sup>ないよう</sup>が他の人<sup>ほか</sup>に知られることはありません。

てすう お手数をかけいたしますが、ご理解<sup>りかい</sup>とご協力<sup>きょうりよく</sup>をよろしく願<sup>ねが</sup>いいたします。

れいわ ねん がつ  
令和7年6月

ふくおかし  
福岡市

きにゆう ちゆうい  
記入にあたってのご注意

●この調査票は、対象者がこどもの場合、お子さんの保護者の方がお答えください。  
お子さんの将来のために、お子さんとも話し合いながらお答えください。

●対象者が成人の場合は、できる限りご本人がお答えください。質問文などでわからない表現や言葉がある場合は、お手数ですが、ご家族の方などに聞いて、お答えください。ご本人の回答や記入が難しい場合は、介助されている方や、ご家族の方が、ご本人と相談したり、ご本人の立場にたってお答えください。

●鉛筆またはボールペンでご記入ください。

●回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。

●質問は問4 2までありますが、質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。

●調査票・返信用封筒に住所やお名前を書く必要はありません。

●各相談機関や親の会、学校や施設等にご協力をお願いしているため、複数の機関から「発達障がい児・者用のアンケート調査」が届く場合があります。その場合は、どれか一つにご回答ください。

●調査票は、記入が終わったら、同封しております封筒（切手不要）に入れて、  
**7月25日（金）**までに、お送りください。

◆記入にあたって、ご不明な点がある方や支援が必要な方は、ご遠慮なくお問い合わせください。

【調査に関するお問い合わせ先】

福岡市役所 子育て発達支援課 アンケート調査担当

電話：092-711-4178 FAX：092-733-5718

「送られてきた調査票についてお答えください」

①調査票はいくつ送られてきましたか。

1. 1通（この調査票だけ） 2. 2通以上

②2通以上送られてきた方は、何通送られてきましたか。

（ ）通



問5 あなたは、発達障がいの診断を受けていますか。(○は1つだけ)

1. 受けている

2. 受けていない

問5-1・2・3は、問5で「1.」を選ばれた方におたずねします

問5-1 あなたが発達障がいと診断された機関は、どこですか。(○は1つだけ)

1. 医院・病院

2. あいあいセンター、西部・東部・南部療育センター

3. こども総合相談センター (児童相談所)

4. その他 (

)

問5-2 あなたが診断を受けた時の年齢を教えてください。

満

歳

問5-3 あなたの診断名を教えてください。(○はあてはまるものすべて)

1. 注意欠陥多動性障がい (ADHD)

2. 学習障がい (LD)

3. アスペルガー症候群

4. 自閉症 (知的障がいを伴うもの)

5. 自閉症 (知的障がいを伴わないもの)

6. 広汎性発達障がい (知的障がいを伴うもの)

7. 広汎性発達障がい (知的障がいを伴わないもの)

8. 知的障がい

9. その他 (

)

問6 あなたは、本来抱えている困難さとは別の二次的な情緒や行動などの問題を抱えていますか。(○は1つだけ)

※「不登校」「ひきこもり」「いじめ」「自傷・他傷」「破壊行動」などの問題を抱えていたり、PTSD・うつ・解離性障害・適応障害などの、発達障害とは別の症状を抱えていること。

1. 現在、二次的な情緒や行動などの問題を抱えている
2. 過去に二次的な情緒や行動などの問題を抱えていたが、現在は解消している
3. 二次的な情緒や行動などの問題は抱えていない

問6-1は、問6で「1.」「2.」を選ばれた方におたずねします

問6-1 二次的な問題について、相談機関や医療機関の利用状況を教えてください。(○はあてはまるものすべて)

1. 現在、相談機関を利用している(具体的に: )
2. 現在、医療機関を利用している(具体的に: )
3. 過去、相談機関を利用していた(具体的に: )
4. 過去、医療機関を利用していた(具体的に: )
5. 相談機関や医療機関を利用したことはない

とい 問7 あなたの所属を教えてください。(○は1つだけ)

《 就学前の場合 》

- |             |        |
|-------------|--------|
| 1. 保育所(園)   | 2. 幼稚園 |
| 3. 障がい児通園施設 | 4. 自宅  |

《 小学校の場合 》

- |           |                |
|-----------|----------------|
| 1. 通常学級   | 2. 通常学級+通級指導教室 |
| 3. 特別支援学級 | 4. 特別支援学校      |

《 中学校の場合 》

- |           |                |
|-----------|----------------|
| 1. 通常学級   | 2. 通常学級+通級指導教室 |
| 3. 特別支援学級 | 4. 特別支援学校      |

《 上記以外 》

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 高等学校               | 2. 特別支援学校高等部      |
| 3. 専門学校               | 4. 短大・大学・大学院      |
| 5. 就労中(アルバイト含む。5以降同じ) | 6. 以前就労していたが現在は無職 |
| 7. 就労経験なく無職           |                   |

せいかつじょうきょう  
生活状況についておたずねします

とい 問8 あなたの現在のお住まいは次のどれですか。(○は1つだけ)

1. 自分や家族の持ち家
2. 民間の借家や賃貸アパート・マンションなど
3. 市営・県営住宅、公営住宅・UR住宅
4. 障がい者グループホーム
5. 障がい者の入所施設
6. その他 ( )

問9 あなたと一緒に暮らしている方はどなたですか。あなたからの続柄でお答えください。(○はあてはまるものすべて)

- |                         |         |        |              |
|-------------------------|---------|--------|--------------|
| 1. 父親                   | 2. 母親   | 3. 祖父母 | 4. 配偶者 (夫・妻) |
| 5. 子ども                  | 6. 兄弟姉妹 |        |              |
| 7. グループホーム、入所施設などの共同生活者 |         |        |              |
| 8. その他 ( )              |         |        |              |
| 9. 同居者はいない (一人暮らし)      |         |        |              |

問10 ふだん、あなたの身の回りの世話 (介助) を主にしているのはどなたですか。(○は1つだけ)

- |   |              |
|---|--------------|
| 1. 父親                                     | 2. 母親        |
| 3. 祖父母                                    | 4. 配偶者 (夫・妻) |
| 5. 子ども                                    | 6. 兄弟姉妹      |
| 7. その他の家族                                 |              |
| 8. サービス事業者 (ホームヘルパー、グループホーム、入所施設などの支援員など) |              |
| 9. その他 ( )                                |              |
| 10. 世話をしてもらわない必要がない                       |              |

問10-1は、問10で「1.」～「7.」を選ばれた方におたずねします

問10-1 身の回りの世話 (介助) を主にしている方の年齢はいくつですか。(○は1つだけ)

- |           |          |           |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 19歳以下  | 2. 20歳代  | 3. 30歳代   |
| 4. 40歳代   | 5. 50歳代  | 6. 60～64歳 |
| 7. 65～74歳 | 8. 75歳以上 |           |

問11 介助者が病気や事故で不在となった場合の緊急時の対応を事前に準備していますか。(○はあてはまるものすべて)

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 相談支援事業所に相談し、事前に対応方法を決めている |
| 2. 短期入所事業所への受け入れを事前に依頼している   |
| 3. 親族や知人に介助を依頼する             |
| 4. 何も準備していない                 |

がいしゅつ じょうきょう  
**外出の状況などについておたずねします**

問12 あなたは、通勤や通学、通所、買い物、通院、レジャーなどの外出を1ヶ月にどのくらいしていますか。付き添い者と一緒に外出する場合も含めてお答えください。(○は1つだけ)

- |           |           |          |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 週に4回以上 | 2. 週に3回   | 3. 週に2回  |
| 4. 週に1回   | 5. 月に1～2回 | 6. 外出しない |

問12-1・2は、問12で「1.」～「5.」を選ばれた方におたずねします

問12-1 どのようなところに外出することが多いですか。  
 (○はあてはまるものすべて)

- |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 仕事        | 2. 通所施設など    | 3. 学校        |
| 4. 買い物       | 5. レジャー・スポーツ | 6. 美術館・映画など  |
| 7. 親せきや友人を訪問 | 8. 病院・医院など   | 9. 役所や相談機関など |
| 10. 旅行・行楽    | 11. 散歩・散策    | 12. 食事・喫茶    |
| 13. その他 ( )  |              |              |

問12-2 どのような方法で、あるいはどのような移動手段を使って外出しますか。  
 (○はあてはまるものすべて)

- |         |            |            |
|---------|------------|------------|
| 1. 徒歩   | 2. 自転車・バイク | 3. 自家用車    |
| 4. タクシー | 5. 地下鉄     | 6. 電車      |
| 7. バス   | 8. 車いす     | 9. その他 ( ) |

問13 あなたは、外出する時、どのようなことに不便や困難を感じますか。

(○は5つまで)

1. 歩道がない道路に危険を感じる
2. 歩道に段差が多い
3. 視覚障がい者用の信号機、点字ブロックなどの設備が少ない
4. 信号の変化がわかりにくく、危険を感じる
5. 障がい者が安心して利用できる交通機関が少ない
6. ICカードの使い方がわからない
7. 障がい者用の駐車場が少ない
8. 障がい者用トイレが少ない
9. エレベーター、エスカレーターが設置されている施設が少ない
10. エレベーターや障がい者用トイレなどの案内標識が少ない
11. 道路に自転車などの障害物が多い
12. 歩行者や走行自転車のマナーの悪さ
13. 外出に必要な情報が得られない
14. 付き添いをしてくれる人がいない
15. 困った時、まわりの人が助けてくれない
16. まわりの人の目が気になる
17. 外出に費用がかかりすぎる
18. その他 ( )
19. 特にない

問14 あなたは、普段、どのようなコミュニケーション（意思疎通）の支援を利用して  
いますか。（○はあてはまるものすべて）

1. 手話通訳者の派遣
2. 要約筆記者の派遣
3. 点字による支援（点訳）
4. 音声による支援（音訳）
5. 触手話や指点字による支援
6. 代筆や代読による支援
7. イラストや単語を指差して意思を伝える方法による支援
8. パソコンやスマートフォン・携帯電話の利用
9. 情報・意思伝達機器による支援（具体的に： )
10. わかりやすい日本語の使用（簡単な言葉を使う・漢字に読みがなをつけるなど）
11. 継続して関わっていることに伴い、あなたの意思をだいたい理解している人による  
支援（ヘルパーなどによる支援）
12. 家族による支援
13. その他 ( )
14. 何も利用していない

問15 あなたは、コミュニケーション（意思疎通）する上で、困っていることがありますか。（○は1つだけ）

1. ある                      2. ない

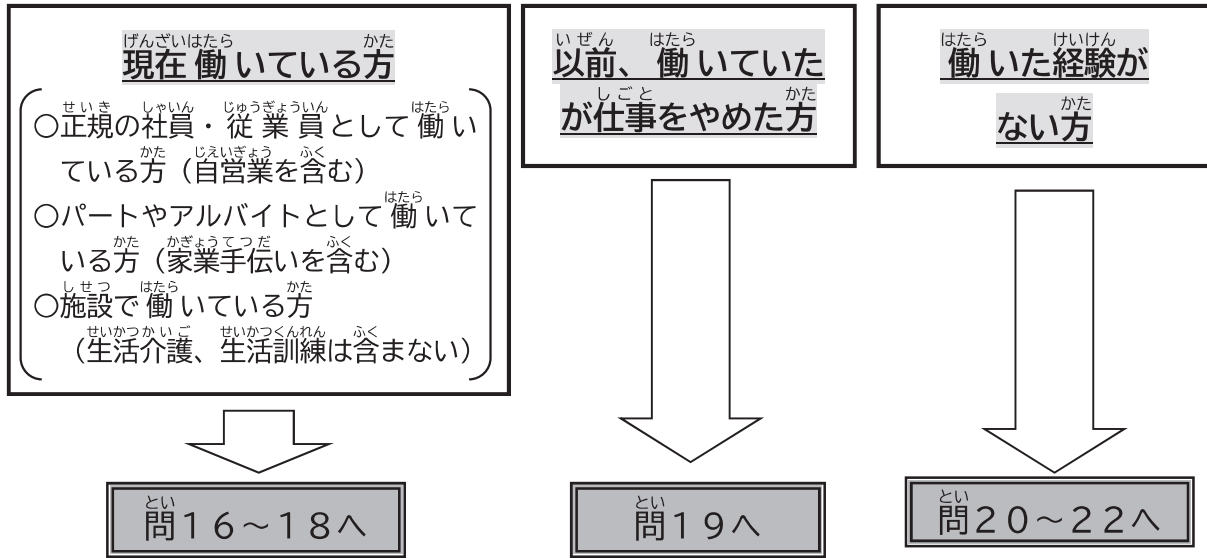
問15-1は、問15で「1.」を選ばれた方におたずねします

問15-1 どのようなことで困っていますか。（○はあてはまるものすべて）

1. 面と向かって人と話すのが苦手
2. 声や言葉がでにくい（声が聞こえない、言葉がでない）ため、自分の思いが伝わりづらい
3. 相手の話が聞き取りづらい
4. 手話を使える人が少ない
5. 音声による情報量が少ない
6. 写真や図表などの視覚情報の説明がされていない
7. 話をうまく組み立てられない
8. 難しい内容やあいまいな表現を理解することが難しい
9. どのように人とコミュニケーションをとればいいのかわからない
10. その他 ( )

就労の状況についておたずねします

問16～22は、18歳以上の方のみお答えください。また、あなたの現在の就労状況によって回答する質問が異なります。下記に従ってお進みください。



問16～18は、現在働いている方のみお答えください

問16 あなたの就労形態は何ですか。（○は1つだけ）

1. 自営業主
2. 家族従事者
3. 正規の社員・従業員
4. 臨時・日雇、アルバイト、パート
5. 派遣社員
6. 内職
7. 施設で働いている（就労継続支援事業所など）
8. 将来、企業などで働くため、施設に通っている（就労移行支援事業所など）

問17 どのような方法で仕事を探しましたか。(○はあてはまるものすべて)

1. ハローワークからのあっせん (紹介)
2. 障がい者就労支援センターに支援してもらった
3. 地域障害者職業センター、障害者就業・生活支援センターに支援してもらった
4. 学校、各種学校の紹介
5. 職業能力開発施設(職業能力開発校など)の紹介
6. 施設(就労移行支援事業所など)に支援してもらった
7. ゆうゆうセンター(発達障がい者支援センター)に支援してもらった
8. 求人誌などで自分で探した
9. 家族、親せきの紹介
10. 家族・親せきなどの経営する会社・店で働いた
11. 知り合いの紹介
12. 障がい者団体の紹介
13. 起業した
14. その他 ( )

問18 あなたの、ふだんの月収(手取り額)はどのくらいですか。賞与などの臨時的に支給されるものは除きます。(○は1つだけ)

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 3,000円未満     | 2. 3,000円～5,000円未満 |
| 3. 5,000円～1万円未満 | 4. 1万円～3万円未満       |
| 5. 3万円～5万円未満    | 6. 5万円～10万円未満      |
| 7. 10万円～15万円未満  | 8. 15万円～20万円未満     |
| 9. 20万円～30万円未満  | 10. 30万円以上         |
| 11. 収入はない       |                    |



問16～18を回答した方は、問20へお進みください

問19は、以前働いていたが仕事をやめた方のみお答えください

問19 仕事をやめた原因は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 障がいや病気で身体的に働くことが難しくなったため
2. 職場や通勤経路のバリアフリー化が進んでいなかったため
3. 職場の人間関係が上手くいかなかったため
4. 仕事内容が自分には向いていなかったため
5. 職場で必要な支援を受けることができなかったため
6. 家庭の事情（家事・結婚・育児など）のため
7. 倒産など会社の都合
8. 会社から解雇されたため
9. 定年退職のため
10. その他（ )





りよう  
利用したいサービスなどについておたずねします

問23 利用したいサービスなどについておたずねします。

(1) あなたは、これから、こんなことができたらいいな、必要だなどと思うサービスや充実すべき施策は何だと思われますか。(○はあてはまるものすべて)

区分	内容
保育所(園) ・幼稚園	1. 保育士などの発達障がいに関する支援の専門性の向上 2. 療育機関からの専門的な助言・指導
学校	3. 学校での特別支援教育支援員によるサポート 4. 教師の発達障がいに関する専門性の向上 5. 学齢期の療育的支援 6. 発達障がい児の放課後支援
仕事	7. 職場の勤務内容や労働環境などを調整するジョブコーチの支援 8. 就労するための訓練 9. 就労の前段階の日常生活訓練(成人期の居場所や活動の場) 10. 実習を利用した職場に適応するための訓練 11. 発達障がい者の雇用に対する職場の理解啓発 12. 自動車運転免許の取得支援
健康	13. 続けて通院が必要な場合の医療費の助成 14. 発達障がいの早期発見と早期支援 15. 発達障がいに対する専門医(精神科医・小児科医)の育成 16. 発達障がいについて理解のある医療機関の育成
お金	17. 経済的負担を軽減するための手当 18. 交通料金の割引 19. 税の控除
身の回り	20. 調理や洗濯、掃除などの家事援助 21. 育児の仕方について助言指導など 22. 区役所や病院などへ出かける際の付き添い 23. 行動上の問題のある子どもの外出に際し、保護者と一緒の付き添い 24. 保護者が病気、事故、出産などの際の子どもの一時的な預かり 25. 保護者が病気、事故、出産などの際の子どもの短期の宿泊 26. 余暇支援のためのボランティア育成 27. 健康管理、金銭管理などの日常生活支援 28. 行動上の問題で公共交通機関を利用できない人に対する保護者の 自家用車での送迎時の付き添い

次頁に続きます

区 分	内 容
住 居	29. グループホーム（アパートなどでの世話人付きの共同生活） 30. 一人暮らしのための賃貸住宅のあっせん
相 談	31. 就職に関する相談や仕事上の悩みの相談 32. 障がい者の制度や手続きの相談 33. 障がいの専門機関ではない身近な場所での育児相談の充実 34. 兄弟姉妹などの家族を対象にした相談 35. 思春期・青年期の自己認知支援
その他	36. 先輩保護者が保護者を支援する相談員の育成と活用 37. 本人・保護者の希望を反映した個別の支援計画による幼児期から成人期までの支援の継続 38. 障がい児（者）の生活の拠点となる地域での受け入れ促進 39. 本人の特性や対応、相談や支援の経過など情報をまとめたサポート手帳の作成 40. その他（ご自由にお書きください。）

(2) (1) で回答したもののうち、最も力を入れてほしいことは何ですか。

(1) で回答したもののなかから1つだけ、選択肢の番号を記入してください。

(1) で回答したもののうち、 最も力を入れてほしいもの：	<input type="text"/>	ばん 番	(番号は1つだけ)
----------------------------------	----------------------	---------	-----------

今後の暮らし方についておたずねします

問24 あなたは、今後（親なき後を含む）、どのように暮らしたいと思いますか。  
（○は1つだけ）

1. 一人で暮らしたい
2. 家族と一緒に暮らしたい
3. グループホームなどの地域で共同生活できる住居で暮らしたい
4. 障がい者施設に入所したい
5. 高齢者施設に入所したい
6. その他（ ）
7. わからない

問25 自宅やグループホームなどで生活するためには、どのような条件が必要だと思いますか。（○は3つまで）

1. 昼間の介護を頼める人がいること
2. 夜間の介護を頼める人がいること
3. 調理や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること
4. 子育ての相談が出来たり、手伝いを頼める人がいること
5. 緊急時に子どもを預けられる所があること（ご近所や、施設など）
6. 短期入所など緊急時に宿泊できるところがあること
7. 主治医や医療機関が近くにあること
8. 病院や施設に通えること（作業、レクリエーション活動、訓練など）
9. 介護を受けながら日中活動を行う施設に通えること
10. 就労や生活の自立、機能の回復へ向けて訓練を受けられる施設に通えること
11. 就労継続支援事業所（A型、B型）で働けること
12. 仕事があること
13. スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近くにあること
14. 外出の介護を頼める人（ガイドヘルパー）のサービスがあること
15. 家族と同居できること
16. グループホームなどの仲間と共同生活できる場があること
17. 地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があること
18. 地域や職場の人たちが障がいについて理解があること
19. その他（ ）
20. 特にない

じょうほうしゅうしゅう そうだん  
**情報収集や相談についておたずねします**

問26 あなたは、生活に関する事で、福岡市からどのような情報が知りたいですか。  
 (〇はあてはまるものすべて)

1. 障がい者に関わる福祉制度などのこと
2. 居宅介護などの在宅で利用できるサービスに関する事
3. 通所施設などの日中活動の情報に関する事
4. グループホーム、入所施設に関する事
5. 困ったときに相談ができる窓口や相談機関のこと
6. 診断や医療に関する事
7. 仕事の選び方などの就職に関する事
8. 文化・スポーツ・レクリエーション、レジャーなどの余暇活動に関する事
9. 仲間づくりが出来るなどの身近な居場所に関する事
10. 災害時の避難の仕方などの災害対策に関する事
11. ボランティア団体などのこと
12. その他 ( )
13. 特にない

問27 福岡市が実施している福祉施策について、あなたが知る手掛かりとなっているのは、次のどれですか。(〇はあてはまるものすべて)

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 市政だより                                | 2. 新聞                 |
| 3. テレビ・ラジオ                              | 4. ホームページ             |
| 5. 団体の機関紙など                             | 6. 区役所の福祉・介護保険課       |
| 7. 保健福祉センター(区役所の健康課)                    | 8. 障がい者更生相談所          |
| 9. 民生委員・児童委員                            | 10. 障がい者相談員           |
| 11. 通所または入所している施設                       |                       |
| 12. あいあいセンター・西部療育センター・東部療育センター・南部療育センター |                       |
| 13. ゆうゆうセンター                            | 14. 区障がい者基幹相談支援センター   |
| 15. 計画相談支援事業所                           | 16. 福岡市情報プラザ(福岡市役所1階) |
| 17. 居宅介護や外出の支援をするヘルパーなど                 |                       |
| 18. 手話放送、字幕放送                           | 19. 精神保健福祉センター        |
| 20. その他 ( )                             | 21. 特にない              |

とい  
問28 あなたは、今の生活の中で困っていることや心配なこと、悩んでいることがありますか。(○は3つまで)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 身体、心の健康や障がいのこと | 2. 家庭のこと          |
| 3. 生活費などの経済的なこと   | 4. 現在受けているサービスのこと |
| 5. 将来受けられるサービスのこと | 6. 住宅のこと          |
| 7. 仕事のこと          | 8. 子どものこと         |
| 9. 老後や将来のこと       | 10. その他 ( )       |
| 11. 特にない          |                   |

問29 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。

あなたは、これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。

さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。

①～⑩の項目ごとに、認知度、利用状況、満足度のそれぞれについて○をつけてください。

	認知度		利用状況		満足度			
	知っている	知らない	利用したことがある	利用したことはない	満足している	やや満足している	あまり満足していない	不満である
記入例	①	2	①	2	①	2	3	4
①区役所の福祉・介護保険課、保健福祉センター（区役所の健康課） 〔障がい福祉サービスの利用などに関する相談に対応する〕	1	2	1	2	1	2	3	4
②あいあいセンター（心身障がい福祉センター）、西部療育センター、東部療育センター、南部療育センター 〔子どもの発達に関する相談を受け、医学的な診断と発達評価に基づいた支援を行う〕	1	2	1	2	1	2	3	4

	にんちど 認知度		りようじょうきよう 利用状況		まんぞくど 満足度			
	知し 知っている	知し 知らない	利用 したことがある	利用 したことはない	満足 している	やや満足 している	あまり満足 していない	不満 である
③区障がい者基幹相談支援センター （市内14か所のセンターで、障がいがある人の在宅生活全般に関する相談支援を行う）	1	2	1	2	1	2	3	4
④ゆうゆうセンター （発達障がい者支援センター） （発達障がいのある人に総合的な相談支援を行う）	1	2	1	2	1	2	3	4
⑤福岡市障がい者110番 （差別の解消や、権利擁護に関する相談などに対応する）	1	2	1	2	1	2	3	4
⑥身体障がい者相談員、知的障がい者相談員 （障がいのある人の日常生活の問題について、地域の相談員が相談に対応する）	1	2	1	2	1	2	3	4

	にんちど 認知度		りようじょうきょう 利用状況		まんぞくど 満足度			
	知し 知っている	知し 知らない	利用 したことがある	利用 したことはない	満足 している	やや満足 している	あまり満足 していない	不満 である
⑦ 民生委員・児童委員 〔 障がいのある人の日常生活 の問題について、身近な地域 で民生委員・児童委員が相談 に対応する 〕	1	2	1	2	1	2	3	4
⑧ 障がい者就労支援センター 〔 障がいのある人や家族、企業 などの相談に応じ、「ジョブコ ーチ」を派遣したり、職場を 開拓するなどの支援を行う 〕	1	2	1	2	1	2	3	4
⑨ 社会福祉協議会 〔 生活福祉資金の貸付や日常 生活への支援、ボランティア 利用など、様々な生活の相談 に対応する 〕	1	2	1	2	1	2	3	4
⑩ 精神保健福祉センター 〔 専門相談窓口として、医療、 福祉などに関する相談に対応 する 〕	1	2	1	2	1	2	3	4

ちいき  
地域とのかかわりについておたずねします

問30 あなたの<sup>きんじよ</sup>ご近所の方との<sup>かんけい</sup>関係は、<sup>つぎ</sup>次のどれに<sup>ちか</sup>近いですか。(○は1つだけ)

1. <sup>なに</sup>何か<sup>こま</sup>困ったときに<sup>たす</sup>助け<sup>あ</sup>合う<sup>した</sup>親しい<sup>ひと</sup>人がいる
2. たまに<sup>いえ</sup>家を<sup>ほうもん</sup>訪問<sup>あ</sup>し合う<sup>ひと</sup>人がいる
3. <sup>た</sup>立ち<sup>ばなし</sup>話をする<sup>ていど</sup>程度<sup>ひと</sup>の人ならいる
4. <sup>あいさつ</sup>あいさつをする<sup>ていど</sup>程度<sup>ひと</sup>の人ならいる
5. <sup>ほとんど</sup>ほとんど<sup>つきあ</sup>付き合い<sup>はない</sup>はない

問31 ここ2～3年の<sup>ねん</sup>間、<sup>あいだ</sup>地域<sup>ちいき</sup>での<sup>ぎょうじ</sup>行事<sup>ちやうないかい</sup>(町内会などが<sup>じっし</sup>実施<sup>ぼうさいくんれん</sup>する防災訓練、<sup>なつまつ</sup>夏祭りな<sup>ど</sup>ど)に<sup>さんか</sup>参加<sup>さんか</sup>したことがありますか。(○は1つだけ)

1. <sup>さんか</sup>参加<sup>さんか</sup>している
2. たまに<sup>さんか</sup>参加<sup>さんか</sup>している
3. <sup>さんか</sup>ほとんど<sup>さんか</sup>参加<sup>さんか</sup>していない
4. <sup>さんか</sup>参加<sup>さんか</sup>していない
5. <sup>ぎょうじ</sup>そのような<sup>し</sup>行事<sup>し</sup>があることを<sup>し</sup>知らない

問32 あなたは、<sup>ちいき</sup>地域<sup>かた</sup>の方が<sup>なに</sup>何か<sup>かつどう</sup>ボランティア活動<sup>おも</sup>をしたいと思<sup>おも</sup>っている場合、<sup>ばあい</sup>どのよ<sup>しえん</sup>うな<sup>こうりゆう</sup>支援・交流<sup>し</sup>があったらいいと思<sup>し</sup>いますか。(○はあてはまるものすべて)

1. <sup>かんたん</sup>簡単な<sup>み</sup>身の<sup>まわ</sup>周りの<sup>せわ</sup>世話を<sup>せわ</sup>する
2. <sup>がいしゅつじ</sup>外出<sup>つ</sup>時に<sup>そ</sup>付き<sup>そ</sup>添う
3. <sup>ふだん</sup>普段<sup>ていきてき</sup>から<sup>こえ</sup>定期的に<sup>こえ</sup>声かけ<sup>こえ</sup>などをする
4. <sup>そうだんあいて</sup>相談<sup>あいて</sup>相手<sup>あいて</sup>になる
5. <sup>せけんばなし</sup>世間話<sup>いっしょ</sup>をして<sup>す</sup>一緒に<sup>す</sup>過ごす
6. <sup>ちいき</sup>地域の<sup>ぎょうじ</sup>行事<sup>いっしょ</sup>や<sup>さんか</sup>イベント<sup>さんか</sup>に<sup>いっしょ</sup>一緒に<sup>さんか</sup>参加<sup>さんか</sup>する
7. <sup>しゅみ</sup>趣味<sup>かつどう</sup>や<sup>いっしょ</sup>スポーツ<sup>いっしょ</sup>活動<sup>いっしょ</sup>を<sup>いっしょ</sup>一緒に<sup>いっしょ</sup>にする
8. <sup>さいがいじ</sup>災害<sup>しえん</sup>時の<sup>しえん</sup>支援<sup>しえん</sup>
9. <sup>た</sup>その他<sup>た</sup> ( )
10. <sup>とく</sup>特<sup>とく</sup>にない

ぼうさい  
防災についておたずねします

問33 あなたが、地震などの災害が発生したときに、困ることや不安なことは何ですか。  
(○はあてはまるものすべて)

1. 災害の情報を知らない
2. 助けを求める方法がない
3. 近くに助けてくれる人がいない
4. 一人では避難できない
5. 避難所の設備が障がいに対応しているか不安
6. 避難所で必要な支援が受けられるか不安
7. 避難所でほかの人と一緒に過ごすのが難しい
8. 薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安
9. 医療機器の電源確保が心配
10. 特にない
11. その他 ( )
12. わからない

問34 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。  
(○はあてはまるものすべて)

1. 日頃から家族で災害時の対応を話し合っている
2. 非常時持ち出し品の用意、非常食などの備蓄をしている
3. 疾病などで必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている
4. 近所の人や知人などに、災害が発生した時の助けをお願いしている
5. 「避難行動要支援者名簿」に登録している
6. 避難先を確保している
7. その他 ( )
8. 特にない

問35 あなたが、水害や地震などの災害が発生したときに、安全の確保などで頼れる人はどなたですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 同居の家族
2. 同居している家族以外の親族
3. 友人・知人
4. 福祉サービスの事業者
5. 頼る必要がない(自力で避難などができる)
6. 頼れる人がいない
7. その他( )

問36 あなたは、福岡市は安全・安心のための社会環境整備ができていると感じていますか。(○は1つだけ)

1. 感じている
2. どちらかといえば感じている
3. どちらかといえば感じていない
4. 感じていない
5. わからない

差別や人権についておたずねします

問37 あなたは、ここ2～3年の間に、障がいがあるため、差別を受けたりいやな思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)

1. ある

2. ない

問37-1は、問37で「1.」を選ばれた方におたずねします

問37-1 どのようなことで、いやな思いをしましたか。

(○はあてはまるものすべて)

1. 病院・診療所などで診察を断られた
2. バス、電車、タクシーなどの乗車拒否にあった
3. 家を借りる時に不動産業者や家主に断られた
4. ホテル・旅館、公衆浴場、飲食店などを利用することを断られた
5. 障がいを理由とした不採用や解雇
6. 役所の窓口に行ったとき、職員の対応で不愉快な思いをした
7. 相談機関・相談窓口に行った時、職員の対応で不愉快な思いをした
8. 学校、職場、施設などで不当な扱いを受けた
9. 居宅介護や外出の支援をするヘルパーなどの対応で不愉快な思いをした
10. 入所・通所している施設職員及び他の利用者の対応で不愉快な思いをした
11. バス、電車、タクシーの乗員の対応で不愉快な思いをした
12. 近所の人達の対応で不愉快な思いをした
13. その他 ( )
14. 思い出せない

問38 障がい者に関する事柄で、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

1. 障がい者の意見や行動が尊重されないこと  
(結婚、就職に際しての周囲の反対など)
2. 差別的な言動を受けること
3. 聴覚や視覚に障がいのある人などへ必要な情報を伝える配慮が足りないこと
4. 発達障がいの特性から生じる困難さに対し、配慮がなされないこと
5. 人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと
6. 道路の段差や建物の階段など外出先での不便が多いこと
7. 働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと
8. 住宅を容易に借りることができないこと
9. 就職・職場で不利な扱いを受けること
10. 役所の窓口において不当な扱いを受けること
11. 病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受けること
12. 使える在宅サービスや福祉施設・病院が少ないこと
13. 学校における一人ひとりの障がい特性に応じた支援体制が不十分なこと
14. 詐欺や悪徳商法の被害を受けやすいこと
15. スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと
16. その他 ( )
17. 特にない

問39 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、国や県、市に、特に力を  
入れてほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

1. 障がい者に配慮した保健、医療体制及び医療費公費負担制度の充実
2. 就労支援の充実（働くための訓練や職場定着など）
3. 施設で働ける場（就労継続支援事業所など）の充実
4. 居宅介護や移動支援など、在宅生活支援サービスの充実
5. 年金など、所得保障の充実
6. グループホームなどの地域で共同生活できる住まいの整備
7. 困ったときにいつでも専門職員が相談に応じてくれる体制の充実
8. 乳幼児期から成人期までの支援を一貫して実施できる仕組みづくり
9. 障がい者にやさしいまちづくりの推進（バリアフリーの推進など）
10. 文化・スポーツなどを通じた社会参加の支援
11. 障がい者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や教育の充実
12. 介護や訓練が受けられる施設（入所・通所）の充実
13. 支援者の養成や質の向上
14. 行政自体の設備や手続きなどを含めたバリアフリーの推進
15. その他（ )
16. 特にない
17. わからない

問40 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、地域社会や企業に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

1. 障がいに対する理解を深める
2. 障がい者をはじめ、困っている人を支える地域活動やボランティア活動を活発にする
3. 地域の行事やイベントに障がい者が参加しやすいよう配慮する
4. 電車やバスなどの公共交通機関や建物、店舗、住居などを障がい者が利用しやすいようにつくる
5. 企業で障がい者を積極的に雇用する
6. 障がい者施設などで作ったものを購入する
7. その他 ( )
8. 特にない
9. わからない

問41 あなたは、福岡市は障がいのある人が暮らしやすいまちだと感じていますか。(〇は1つだけ)

1. 感じている
2. どちらかといえば感じている
3. どちらかといえば感じていない
4. 感じていない
5. わからない

問42 障がい者福祉についてご意見がありましたら、自由に記入してください。

◎この調査票はどなたが回答しましたか。(○は1つだけ)

1. 本人が全部回答した

2. 他の人が本人の意思を確認しながら回答した

3. 本人の意思を確認するのは困難であり、他の人が回答した

4. その他( )

「2. 他の人が本人の意思を確認しながら回答した」

「3. 本人の意思を確認するのは困難であり、他の人が回答した」

を選ばれた方におたずねします

◎この調査票を回答した方の続柄は何ですか。ご本人からみた続柄をお答えください。(○は1つだけ)

1. 父親

2. 母親

3. 祖父母

4. 配偶者(夫・妻)

5. 子ども

6. 兄弟姉妹

7. その他の家族

8. サービス事業者(ホームヘルパーなど)

9. その他( )

全員におたずねします

◎調査票への回答にあたって、困ったことやその他何かご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

